

子どもの自殺対策推進事業

心の支援課

1 事業目的

教員や子ども自身が思春期における心の危機のサインを理解し、適切に対応できるよう、学校における自殺予防の取組を支援する。

2 事業内容

(1) 教員向け予防研修

学校現場において、生徒の自殺のサインを見逃さないよう能力をブラッシュアップするとともに、生徒がSOSを発信できるような取組みに向け、平成29年度に引き続き外部専門家を講師とした研修を実施する。

(2) コミュニケーション力の向上と人間関係づくり支援

① SST等人間関係づくりを目的とした講師派遣

SST等プログラム イントロダクション、聴くスキル、話すスキル、感情をコントロールするスキル	対象校（県立学校） 20校×2回 (希望する学校に対して補助)
--	--

※SST（ソーシャルスキルトレーニング）とは、対人関係や集団行動を上手に営んでいくための技能（言語、非言語を通して適切に相手に反応するための対人行動）を習得するプログラムのこと。

② 「アセス」（学校環境適応感尺度）の活用

生徒にアンケートを実施して、その結果から生活満足感や学習的適応等を測定し、生徒の学校・家庭での課題、悩みをつかみ、面談等を実施する。場合によってはSCやSSWにつなぐ。

「アセス」について(CD付き書籍) 学校適応感理論をもとに、大きく「生活満足感」「学習的適応」「対人的適応」の3つの観点とともに、生活満足感も測定でき、学校外での生活に関する満足感も間接的に知ることができる。	対象校（県立学校、公立小中学校） 新たな62校（モデル校指定） ・中学校 30校（15郡市×2校） ・高等学校 12校（4地区×3校） ・小学校 20校（全県）
--	---

アセスのモデル校を対象とした研修 1回目：モデル校を対象に、活用目的、評価方法等を中心に基礎知識を得ることを目的とする。 2回目：モデル校等を対象に、面接やクラス経営など取組実践を中心に情報共有することを目的とする。

3 平成30年度予算額 144万8千円